

KIYOSEのひと

増田洋蘭 (洋蘭・パッションフルーツ農家)
増田道浩さん・布美子さん

胡蝶蘭からパッションフルーツへ。農家としての転機と、夫婦で挑んだジャムづくり。清瀬の恵みを詰め込んだ物語が、いま多くの人の手に届いています。



「今年は例年より1ヶ月くらい遅いかな。8月初旬から出荷できると思います。」

まだ青い実を手にも、そう話すのはパッションフルーツ農家の増田さんご夫婦。もとは胡蝶蘭を育てていましたが、コロナ禍と重油高騰を機に花から果物へと転換。広い温室は、今や青々と茂る果実のつるで埋め尽くされています。

パッションフルーツは、「JA東京みらい みらい清瀬新鮮館」で販売予定のほか、「パティスリー ボンボンガトー」や「レストラン アルブル」など市内の店舗でも使われ、香りのよさと味わいで人気です。

転機のきっかけをつくったのは、妻の布美子さん。「ジャムづくりが好きで、香りのよいパッションフルーツを使ってみたかったんです」と笑います。



実は「ジャム屋をひらきたい」という十年来の夢があり、「コンテストで金賞を獲ったら開業する!」と決意。夫の果物で挑戦を始めました。

1年目、2年目と銀賞。そして諦めかけていた3年目、レモンマーマレードで念願の金賞を受賞。さらに今年、英国開催の「ダルメイン世界マーマレードアワード」でも、ゆずマーマレードが金賞に輝きました。

「本当にやるつもりなのかな~と思っていた」と道浩さんは笑いますが、家族一丸での挑戦です。ラベルにはお二人の息子さんの名前にちなんだ英語の言葉を添え、贈りものにも喜ばれるようデザインにもこだわりました。

今年5月には「増田洋蘭」の屋号でジャムの製造・販売を開始。月替わりのラインナップで、「ちょっとした手みやげに使ってもらえたらうれしいです」と布美子さんは話しています。

清瀬市観光協会の
お
推し!

きよはちサイダー
340ml 350円(税込)



はちみつ香る、まちのサイダーが新発売

清瀬市観光協会がプロデュースする、ご当地ならではの新商品「きよはちサイダー」がまもなく登場します。清瀬市役所の屋上で採れたはちみつ「きよはち」を使用し、やさしい甘みと炭酸の爽快感が特徴。キンと冷やしてゴクゴク飲みたくなる、清瀬の新しい定番です。まちの味わいを、ぜひご堪能ください。



[きよはちサイダー販売場所]

- ・ひまわりフェスティバル内 清瀬市観光協会テント (7/26~8/3)
- ・清瀬市役所 1F売店 (8/4~)



販売場所はこちら

more! KIYOSE vol.06

発行: 清瀬市シティプロモーション課
発行月: 2025年7月
問合せ: ☎042-497-1808 (直通)
制作: 合同会社ハチコク社
表紙撮影: サイトウ ユウキ
本誌記載内容の無断転載はご遠慮ください。
©2025 more! KIYOSE all rights reserved.



SDGs
未来都市
しあわせは、ここにある
清瀬市
Kiyose City

清瀬市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



みんなの力で
大江戸線を清瀬市へ

あなたの声をお聞かせください

本誌へのご意見やご感想、
気になる情報や見てみたい企
画も募集中です。これまでの
号も合わせてご覧ください。

ご回答は
LoGoフォームへ



バックナンバーは
こちら

